

うちの学校 紹介しまあ!

その8 一宮小学校



一宮小学校は創立三年目。

尾崎、郡家、山田の伝統を踏まえつつ「一宮」の土台を築き上げてきました。今年度は、江井小学校との更なる統合に向けて「当たり前前のこと」を大切にやり組んでいます。

一、時を守り、場を清め、礼を正す

二学期の始業式で、校長先生が「時を守り、場を清め、礼を正す」というお話をされました。その日から学校を挙げての取組が始まりました。児童会が朝会と呼びかけ、委員会がポスターを作り、全職員で声を掛け、日々実践です。「時を守る」取組では、全校生、全職員が「チャイム着席」を合い言葉に時間を意識し、チャイムと同時に着席、始業



掃除する児童

できるようになりました。「場を清める」取組では、「チャイム掃除」を意識し、時間いっぱい、隅々まで掃除するよう心がけています。通常清掃が終わっても、メラミンスポンジ等で更に磨きをかけ、「見つけ掃除」も行います。児童会の「お掃除放送」で褒めてもらうと、嬉しくなってもた次の日も頑張れます。

「礼を正す」取組では、児童会の毎朝の挨拶運動や「さよなら放送」、特別支援学級の挨拶巡り、スクールバス発着時の声かけ等、日々の積み重ねにより、元気のいい挨拶ができるようになってきました。更に「自発的に」挨拶できる児童も徐々に増えています。



第1回交流会

二、統合に向けて

江井小学校との統合に向け、交流会を三回行いました。第一回は七月十五日、低学年同士です。顔合わせの後、各学年で自己紹介やゲームをしてふれあいました。第二回は九月二十八日。全校生で両校の校歌を披露し合い、各学年で学習しました。第三回は、二月九日。一、

五年生が新年度同様、一緒にスクールバスに乗り、学習し給食も掃除も帰りの会も全て一緒に体験しました。三回の交流を通して、両校の児童は、少しずつお互いを知り、春からの学校生活に向けて心の準備をしています。新校舎も完成間近。一宮小学校の新しい春も、もうすぐそこまで来ています。

「障がいのある人と人権」

テーマ

シリーズ④

「淡路市人権まちづくり基本計画 策定のための『人権意識調査』から」

「成人」有効回収数1,225
人・有効回収率40・8%

■ユニバーサル社会をめざして■

「あなたのお住まい近くに次のような施設が建設される計画を知った時、あなたはそのような態度をとると思いますか」という質問に対して、

施設の種類	賛成する	どちらかといえば賛成する	どちらかといえば反対する	反対する	不明・無回答
オ. 身体に障がいのある人の施設	30.0	56.2	10.0	1.9	2.0
イ. 精神に障がいのある人の施設や病院	17.5	37.8	35.2	7.8	1.7
ク. 知的な障がいのある人の施設	19.3	51.2	21.1	6.0	2.4

平成27(2015)年発行の第4期淡路市障がい福祉計画によると、淡路市での障害者手帳(身体・知的・精神)所持者数は3362人で、その割合は総人口の7.1%に相当します。昨年4月、「障害者差別解消法」が施行されましたが、障がい者を取り巻く差別や偏見、社会参加を拒む「壁」をなくすためには、行政や企業だけではなく、市民一人ひとりの意識改革や具体的な行動が求められています。

だれもが地域社会の一員として支え合う中で安心して暮らし、一人ひとりが持てる力を発揮して元気に活動できるユニバーサル社会をつくっていきましょう。